

【4】物件税及び公課諸負担

調査票 P11

1 物件税

区 分		金 額 (円)	負担割合 (%)	
			調査対象畜	自給牧草
計		万 千 百 十		
固 定 資産税	建 物	1 4 0 0 0 0	6 0	1 0
	農 機 具	3 0 0 0 0 0	5 0	2 0
都 市 計 画 税 (土 地 以 外)				
不 動 産 取 得 税 (土 地 以 外)				
自 動 車 取 得 税		1 5 0 0 0 0	5 0	2 0
共 同 施 設 税				

2 公課所負担

区 分		金 額 (円)	負担割合 (%)		公課諸負担の例示
			調査対象畜	自給牧草	
計		万 千 百 十			
集 落 協 議 会 費		7 5 0 0	9 0		地域集落等の会費
農 業 協 同 組 合 費		1 1 0 0 0 0	9 0		農業協同組合の組合費、賦課金
酪 農 組 合 費		9 0 0 0 0 0	1 0 0		
生乳出荷枠の取得費			1 0 0		
農 事 実 行 組 合 費		1 0 0 0 0 0	9 0		実行組合、農家組合等の会費、賦課金
家畜共済組合賦課金		1 2 5 0 0 0	8 0		

物件税及び公課諸負担

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、物件税の補助科目として「都市計画税」「共同施設税」等を
公課所負担の補助科目を「集落協議会費」「酪農組合費」等を設定しています。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[経常損益の部]					
【販売費一般管理費】					
租税 公課					
固定資産税・建物				140,000	
固定資産税・農機具				30,000	
都市計画税					
不動産取得税					
自動車取得税				15,000	
共同施設税					

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【販売費一般管理費】					
租税 公課					
固定資産税・建物				140,000	
集落協議会費				7,500	
農業協同組合費				110,000	
酪農組合費				90,000	
生乳出荷枠の取得費					
農事實行組合費				10,000	
家畜共済組合賦課金				125,000	

【5】消費税、【6】借入金

調査票 P11

【5】消費税

区 分	金 額 (円)	調査対象 負担割合
消 費 税 (納付額)	2000000	90%

消費税

- ※ 消費税は「合計残高試算表」では、表示されません。
 「バランスシート」を参照してください。
 ※ 実際に納付した消費税の額を記入してください。

【6】借入金（買掛未払金を含む）及び支払利息

借 入 金 種 類	調査開始時 未償還残高 (円)	支払利息額 (円)	負担割合 (%)	
			調 査 対 象 畜	自給牧草
計				
△△資金（畜舎用）	3000000	40000	60	10
××資金（ローダー用）	5000000	150000	50	20
〇〇資金（トラクター）	43000000		50	20
買 掛 未 払 金	3550000		70	30

借入金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

前期の合計残高試算表の決算・全部門・貸借対照表と今期の

合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、利子割引料の補助科目として「△△資金（畜舎用）」、
 「××資金（ローダー用）」等を設定しています。

合計残高試算表

貸借対照表

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《負債の部》					
【固定負債】					
長期借入金				7,800,000	
△△資金（畜舎用）				3,000,000	
××資金（ローダー用）				500,000	
〇〇資金（トラクター）				4,300,000	
【流動負債】					
買 掛 金				355,000	

借入金（支払利息）

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【営業外費用】					
利子割引料				55,000	
短期借入金利子					
△△資金（畜舎用）				40,000	
××資金（ローダー用）				15,000	
〇〇資金（トラクター）					

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む）の所有状況

調査票 P12

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む）の所有状況

番号	名称等	種類 コード	構造 コード	延べ面積 (㎡) 又は 施設数 (基)	新古 区分 新築 中古	耐用 年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) 購入金額から補助金を控除し た額を記入してください。	農業経営基盤 強化準備金 (円) 建物等の取得のために取 り崩した準備金の額を記入 してください。	修繕費 (円) 当年の当該建物等の修繕費 を記入してください。	保険料 (円) 当年の当該建物等の災 害保険料を記入してくだ さい。	負担割合 (%)		異動 コード	年内異動状況 (円) 異動に伴う発生金額 売却金額、取り壊しの金額	
							年 (西暦)	月					調査 対象畜	自給 牧草		異動 コード	発生金額
1	畜舎・フリーストール	5	5	400	○	3	1	9	6500000			20000	1	0	1	5000000	
2	たい肥舎	9	4	100	○	3	1	9	7500000				1	0	2	1500000	
3	作業場	4	1	200	○	1	2	0	8700000				1	0	3	2000000	
4	サイロ	2	3	1	○	1	2	0	13800000	5000000	3000000			1	0		
15	畜舎・フリーストール (新築)	5	5	800	○		2	0	19625000000				1	0			

建物等の取得年月と取得価格、売却金額（自動車、農業機械も同様）

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。
各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

減価償却資産集計表

コード 事業区 分 資産区 分	資産名称 摘要					取得価格		普通償却額		売却価額	
	取得年月日	償却方法	耐用年数	償却率	期間	交付金等 差引取得 償却基礎金額	割増特別償却額 当期償却費計	割増特別償却額 当期償却費計	当期償却費計	売却損益 期首帳簿価額	期末帳簿価額
1 農 業 建物	畜舎・フリーストール					6,500,000					
	1965/9										
2 農 業 建物	たい肥舎					300,000					
	1997/5										
3 農 業 建物	作業場					2,600,000				200,000	
	2008/7										
4 農 業 機械装 置	脱臭施設					400,000					
	2013/3										

修繕費・保険料

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
この事例では、修繕費の補助科目として「建物修繕費」を設定しています。
ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て酪農で
負担したと見なしています。

損益計算書

勘定科目		繰越		借方金額		貸方金額		残高		構成比 (%)	
[経常損益の部]											
【生産原価】											
修 繕 費											
建物修繕費								30,000			
[販売費一般管理費]											
損害保険料								20,000			
建物保険料								20,000			

農業経営基盤強化準備金の取り崩しについて

「農業簿記」の合計残高試算表では表示できません。
牛乳生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む）の所有状況

取得年月、取得価格、売却金額

本マニュアルP24と同様、「減価償却資産集計表」を参照して転記してください。

調査票 P13

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む）の所有状況

番号	名称等	種類 コード	型式 区分 新古 中古	耐用 年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) 購入金額から補助金を 控除した額を記入してくだ さい。	修繕費 (円) 当年の当該自動車等の 修繕費を記入してくださ い。	自動車保険料 (円) 当年の当該自動車 等の保険料を記入し てください。	自動車・ 軽自動車税 (円) 当年の当該自動車 等の自動車税又は軽 自動車税を記入し てください。	当年、車検を受けた自動車等 について記入してください。		負担割合 (%)		年内異動状況	
					年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)	調査 対象者	自給 牧草	異動 コード	売却金額 (円) 廃棄（無償譲渡を含む。）した 場合は、「0（ゼロ）」
1	軽トラック	11	○	4	2014	2	5600000			4000			20	80	1	500000
2	貨物ダンプ	12	○	2	2009	8	7000000			8000	3300	23970		100	2	0
3	貨物トラック	13	○	5	2016	1	13000000	124000	10000	16000	16400	28720		100		
15	軽トラック	11	○	3	2019	4	3000000				6600	25880	20	80		

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
 合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
 建物の修繕費と同じですが、合算されているので、元帳で内訳を確認します。

損益計算書 全部門					
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
[生産原価]					
修繕費				174,000	
建物修繕費				30,000	
農具修繕費				20,000	
車修繕費				124,000	

自動車保険料、自動車・軽自動車税、自動車重量税、自賠責保険

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
 合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
 この事例では、租税公課の補助科目として「自動車保険料」「自動車税」等を設定しています。
 ここでは、各項目毎に合算されているので、元帳で更に内訳を確認します。

損益計算書 全部門					
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【販売費一般管理費】					
租税 公課					
固定資産税・建物				140,000	
軽・自動車税				28,000	
自動車重量税				19,700	
自賠責保険				52,690	
損害保険料					
自動車保険料（車両分）				10,000	